

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,342	2,351		2,350			2,350	8
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	2,342	2,351		2,350		2,350	8

事業概要	社会教育活動の指導・助言を行う社会教育指導員1名の人件費及び社会教育に関する助言を行う15名の社会教育委員等にかかる報酬等経費	今年度見直し事項	
事業目的	生涯学習課内に社会教育指導員を配置し、また社会教育関係機関及び学識経験者等からなる社会教育委員会で幅広く意見を求め、本市の社会教育の充実に努める。		
現状と背景	近年の少子化・核家族化・メディアの発達などにより現代社会をとりまく環境は大きく変化している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	成人式記念事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	490	558		558			558	68
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	490	558		558		558	68

事業概要	<p>新成人が大人として自立する意識をもつことを目的として、式典を開催し祝福する。</p> <p>日程:平成29年1月開催予定</p> <p>会場:文化ホール</p> <p>対象者:平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれ</p>	今年度見直し事項	
事業目的	大人の仲間入りをした新成人の門出を祝う。		
現状と背景	<p>成人の日の前日の日曜日に開催。</p> <p>過去の開催日:出席率 平成22年度72%・平成23年度74%・平成24年度79%・平成25年度77%・平成26年度74%</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化財保護事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	38	176		176			176	138
財源内訳	国							
	県	19		88			88	69
	市債							
	その他	19				88	88	69
一般財源		176		88		▲ 88		

事業概要	文化財保護審議会を開催し、文化財の保存・活用に向けた調査活動を行う。また、市内にある文化財を市民に知ってもらうため、「文化財めぐり」等を開催する。	今年度見直し事項	指定文化財や各種資料を掲載したデジタルミュージアム、ガイドブックを製作することとし、その内容等について審議するため、文化財保護審議会の開催開催回数を増やす。
事業目的	市内にある重要な文化財を保存、活用することにより、市民文化の向上に資する。		
現状と背景	平成23年に第4次文化財指定を行った。引き続き指定文化財の適切な保存・活用を図るとともに、市民への周知に努めていく。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市美術展覧会事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	745	750		750			750	5
財源内訳	国							
	県	372		187		188	375	3
	市債							
	その他	373				375	375	2
一般財源		750		563		▲ 563		

事業概要	美術作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術・文化の振興を図るため、絵画、工芸、彫刻、書道、写真の5部門に市民から美術作品を募集し、優れた作品を展示する「市美術展覧会」を開催する。	今年度見直し事項	関係者からの要望により、書道部門陳列委員を2名増員する。
事業目的	広く市民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術振興を図る。		
現状と背景	平成28年度で第47回となる。 例年、出品点数 約200点、入場者数 約1,000人。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	境港市文化協会補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	600	600		600			600	
財源内訳	国							
	県	300		300			300	
	市債							
	その他	300				300	300	
	一般財源		600		300		▲ 300	

事業概要	市文化協会加盟団体が主催する自主行事(市内での発表会、展覧会等)及び加盟団体が合同で開催する「境港文化のつどい」の開催経費の一部を補助する。 補助上限額 (自主事業分) 1団体あたり20千円 (境港文化のつどい) 480千円	今年度見直し事項	補助対象を加盟団体が行う自主事業だけでなく、「境港文化のつどい」も対象とする。
事業目的	市内に活動の拠点を置く文化団体が自主的に行う文化活動を補助することにより、文化の創造を促進するとともに、市民に鑑賞する機会を提供する。		
現状と背景	実績(協会加盟団体/補助事業実施団体/事業入場者) H25 35団体/21団体/約4,700人 H26 34団体/20団体/約4,200人 補助限度額(1団体あたり) H18~ 30千円(財源内訳:市補助金25千円、協会費5千円) H27~ 26千円(財源内訳:市補助金25千円、協会費1千円)	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	学校教育課
事業名	青少年芸術鑑賞事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,150	2,183		2,183			2,183	33
財源内訳	国							
	県	1,075		1,091			1,091	16
	市債							
	その他	1,075				1,092	1,092	17
一般財源		2,183		1,092		▲ 1,092		

事業概要	中学校芸術鑑賞教室(毎年2校を対象)や青少年劇場巡回公演(小学3年生と5年生対象)を開催し、生の芸術に触れる機会を創出している。	今年度見直し事項	
事業目的	優れた舞台芸術に間近に触れる機会を提供することで、豊かな情操を培い、芸術文化の振興を図る。		
現状と背景	境港市の小・中学生は、本物の芸術音楽に触れ合う機会が少ない。境港市の義務教育にいる間に、本物を身近で鑑賞体験することで、心情や情操の育成を図りたい。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	親子読み聞かせ教室運営補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	516	516		516			516	
財源内訳	国							
	県	258	258	258			258	
	市債							
	その他	258				258	258	
一般財源		258		258		▲ 258		

事業概要	市内の読み聞かせ団体で構成する読み聞かせ団体連絡協議会がひまわり等で開催する読み聞かせ教室に対する補助金を予算化している。 実施日： 【ひまわり】 毎週水曜日、毎月第1・3・4金曜日 【図書館分館】毎月第1・2・3土曜日	今年度見直し事項	
事業目的	絵本等の親子読み聞かせ教室の開催を支援することにより、絵本等とおして親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの豊かな心を育てていくことを目的とする。		
現状と背景	近年はメディアの急速な発達と普及により、幼児期からテレビやゲームに触れる可能性が高くなった。このことは親子のふれあいやコミュニケーションの時間を奪い、この時期の子どもに必要な言葉や心の発達を妨げる結果となっている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	学校教育課
事業名	適応指導教室「やすらぎルーム」運営事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	4,349	4,411		4,411			4,411	62
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他					4,411	4,411	4,411
一般財源	4,349	4,411		4,411		▲ 4,411		▲ 4,349

事業概要	集団生活への適応性や家庭環境等に問題があり学校へ通うことができない児童生徒に対する受け皿として、適応指導教室「やすらぎルーム」を境港市青少年育成センター内に開設し、集団生活への適応、情緒の安定、基本的な生活習慣の改善等のための相談・適応指導などを行い、児童生徒の自立を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	不登校児童・生徒の居場所を確保し、相談・適応指導等により自立支援を行うことで、学校への復帰を促し不登校の解消を目指す。		
現状と背景	新たな不登校児童生徒を出さないことを重点目標に掲げ、各校で取り組んでいるが、家庭環境の変化等により不登校になってしまう児童生徒もいる。「やすらぎルーム」ではそのような子どもが学校に通えるよう学校と連携をとりながらすすめている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市の花普及事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	50	54		54			54	4
財源内訳	国							
	県	25		27			27	2
	市債							
	その他	25				27	27	2
一般財源		54		27		▲ 27		

事業概要	市の花である「菊」を展示し、広く市民に鑑賞の機会を提供することを目的とし、展示のための会場費等の経費を予算化している。 委託先: 境港菊の会	今年度見直し事項	
事業目的	市民に市の花を観賞する機会を提供するとともに市の花の普及に努める。		
現状と背景	以前は境中央公園や夢みなとタワーで行っていたが、より多くの市民に鑑賞してもらうため、平成20年度以降は市民会館市民広場で行っている。出品点数は約100点、来場者数は約1,000人を数え、市民に好評を得ている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化振興事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,996	1,984		1,984			1,984	▲ 12
財源内訳	国							
	県	727		699			699	▲ 28
	市債							
	その他	1,269	585	585		700	1,285	16
	一般財源		1,399		700		▲ 700	

事業概要	市民の音楽活動等の文化活動の振興を目的に、市民が参加できるコンサート等を実施している。 ・境港市ピアノコンクール 市内の小学生から高校生までが参加するピアノコンクールの開催 ・サロンコンサート(境港市文化振興財団に運営を委託) 毎月1回、文化ホールの喫茶コーナーで行う地元の演奏会によるコンサートの開催 ・シンフォニー少年少女合唱団育成事業 市内の小学生から高校生で構成する合唱団の育成 毎週土曜日の練習のほか、年1回定期演奏会を開催	今年度見直し事項	
事業目的	市民が参加できる文化事業を開催することにより、市の文化振興の発展を図る。		
現状と背景	いずれの事業も10年以上継続して開催しており、多くの市民が参加している。		その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県社会教育協議会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	19	19		19			19	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	19	19		19		19	

事業概要	鳥取県内の社会教育を振興するため県が設置する鳥取県社会教育協議会に対する本市負担金を予算化している。(人口割)	今年度見直し事項	
事業目的	構成団体(市町村教育委員会及び社会教育関係団体)相互の連絡提携を図るとともに、鳥取県公民館連合会と連携して、鳥取県社会教育の振興発展に寄与することを目的とする。		
現状と背景	平成19年度までは他の協議会等への負担金補助金が主な事業であったため、予算の見直しを行った。その結果、平成20年度から支出項目を主に鳥取県公民館連合会交付金及び自主事業費とし、市町村負担金を削減している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育事務人件費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	41,915	38,984		38,984		217	39,201	▲ 2,714
財源内訳	国							
	県	6		7			7	1
	市債							
	その他							
一般財源	41,909	38,984		38,977		217	39,194	▲ 2,715

事業概要	教育委員会事務局職員(社会教育部門)の人件費(給与・手当・共済費)である。	今年度見直し事項	
事業目的	教育委員会事務局職員(社会教育部門)の人件費(給与・手当・共済費)		
現状と背景	教育委員会事務局職員(社会教育部門)の人件費(給与・手当・共済費)	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県社会教育委員連絡協議会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	15	15		15			15	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	15	15		15			15

事業概要	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡協調をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする鳥取県社会教育委員連絡協議会に対する負担金を予算化している。(委員数)	今年度見直し事項	
事業目的	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡協調をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする。		
現状と背景	この会は県及び市町村に設置された社会教育委員をもって組織され、情報収集・情報交換、研修会等をとおして各市町村の社会教育の振興を図っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	青少年育成境港市民会議補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	360	360		360			360	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	360	360		360			360

事業概要	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進することを目的とし、青少年育成境港市民会議に対する補助金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進する。		
現状と背景	近年の情報メディアの急速な発達・普及により、青少年をとりまく環境は大きく変化している。そのため学校・家庭・地域が連携して青少年の健全育成に取り組んでいかなければならない。 事業例：青少年意見発表会及び青少年育成講演会の開催。あいさつ運動・防犯パトロール等の実施。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	ブラスフェスタ運営補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	278	176		176			176	▲ 102
財源内訳	国							
	県	139		88			88	▲ 51
	市債							
	その他	139				88	88	▲ 51
一般財源		176		88		▲ 88		

事業概要	市内の小学校から高校、一般までの金管バンドが参加するコンサート(ブラスフェスタin境港)の運営費を補助する。	今年度見直し事項	
事業目的	金管バンドを通して、様々な年代の演奏者の交流と音楽活動の振興を図るとともに、市民に広く鑑賞の機会を提供する。		
現状と背景	特に小学生の出演児童にとって、高学年の演奏を聞く機会は貴重であり、自身の演奏活動における大きな刺激となっている。 会場はH24年度まで境港市民会館を使用していたが、耐震強度の不足により使用停止となったため、H25年度以降は上道小学校体育館で開催している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	青少年育成センター管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,309	2,326		2,326			2,326	17
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	2,309	2,326		2,326		2,326	17

事業概要	青少年の非行防止と健全育成を目的とし、青少年育成センター職員2名分の人件費(2名分の各1/2相当を生涯学習課で負担)及び青少年育成センター運営協議会委員報酬と維持管理にかかる経費(消耗品費)を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	青少年育成センターに職員を3名(3名のうち2名分の各1/2相当を生涯学習課で負担)を置き、青少年問題に関する機関・団体等との連絡を図り、巡回環境浄化や広報等で青少年の非行防止と健全育成の指導を総合的に行うことを目的とする。		
現状と背景	平成18年度から平成21年度まで青少年育成センターの所管を教育総務課に移し、育成センター内に「やすらぎルーム」を設置していたが、育成センターとしての機能は十分ではなく、平成22年度からの所管は生涯学習課となる。職員3名により、青少年問題に関する機関・団体等との連絡を図り、巡回環境浄化や広報等で青少年の非行防止と健全育成の指導を総合的に行うことを目的とした活動を行う。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	次世代鑑賞者育成事業補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	230	200		200			200	▲ 30
財源内訳	国							
	県	200	200	200			200	
	市債							
	その他							
	一般財源	30						▲ 30

事業概要	未就学児を対象とした作品鑑賞、創造体験または公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	芸術・文化活動者のすそ野拡大・次世代鑑賞者の育成		
現状と背景	H16から県の事業として行われてきたが、子育て家庭へのさらなる周知を図るため、H22から窓口が市町村へ移行した。 実績(補助事業実施団体/補助額) H24 1団体/100千円 H25 1団体/100千円 H26 2団体/139千円	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	学校・家庭・地域連携協力推進事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,093	1,097		1,097			1,097	4
財源内訳	国							
	県	728	731	731			731	3
	市債							
	その他							
	一般財源	365	366		366			366

事業概要	平成20年度～22年度は委託事業として、平成23年度からは補助事業として実施。学校・地域との連携推進を目指し、教育委員会事務局内に学校支援コーディネーターを配置、市内小・中学校10校と地域の学校支援ボランティアとの調整を図り、学校の要望に応じた様々な教育活動を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	教員が本来の職務に専念できるよう業務負担の軽減を図るとともに、地域の方々が学校を支援することで、学校教育への関心を高め、地域の教育力を活性化し、学校・地域の連携体制の構築をめざす。		
現状と背景	近年子どもを取り巻く環境が大きく変化し、家庭や地域の教育力が低下している。未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等が連携し地域全体で教育に取り組む体制づくりをめざす必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	綾木いづみ絵画展開催補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		528				430	430	430
財源内訳	国							
	県					215	215	215
	市債							
	その他					215	215	215
	一般財源		528					

事業概要	本市出身の日本画家・綾木いづみ氏の絵画展・講演会開催に際し、開催経費の補助を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	市民が上質な絵画作品を鑑賞する機会を提供することにより、文化芸術の振興を図る。		
現状と背景	日本画家・綾木いづみ氏は鳥取市を拠点に活動されているが、在米日本国大使館に展示されるなど、作品は国内外で高い評価を受けている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	デジタルミュージアム事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		2,567						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		2,567					

事業概要	市内にある文化財や各種資料に関する画像データや説明等を掲載したウェブサイトを製作する。	今年度見直し事項
事業目的	市内にある文化財や各種資料につき市民への周知を図ることにより、市民が郷土の歴史や魅力を再認識するきっかけを設ける。	
現状と背景	市内には市指定文化財をはじめとして多くの文化財や資料があるが、市民(特に若い世代)には十分に浸透しているとはいえない状況にある。	その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	日独合唱交流事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		259						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		259					

事業概要	ドイツで活動するアマチュア合唱団を招き、市内小中学生・社会人の合唱団との交流を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	合唱を通じた市民の交流促進		
現状と背景	ドイツ・エルフルト市で活動するアマチュア合唱団・聖アウグスチヌス聖歌隊は、ドイツ国内で著名な合唱団であり、海外からも高い評価を受けている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化財ハンドブック製作事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		692		692			692	692
財源内訳	国							
	県			346			346	346
	市債							
	その他					346	346	346
一般財源		692		346		▲ 346		

事業概要	市内にある文化財や各種資料に関する画像データ・説明等を掲載したハンドブックを製作する。	今年度見直し事項	
事業目的	市内にある文化財や各種資料につき、市民への周知を図ることにより、市民が町の歴史や魅力を再認識する機会を設ける。		
現状と背景	市指定文化財をはじめ、市内に多くの文化財や資料があるが、市民(特に若い世代)には十分に浸透していないため、周知を図る必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	松本英三木版画展開催事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費					298	194	492	492
財源内訳	国							
	県					246	246	246
	市債							
	その他					246	246	246
	一般財源					298	▲ 298	

事業概要	本市出身の木版画家・松本英三氏の木版画展を開催する。	今年度見直し事項	
事業目的	市民が上質な作品を鑑賞する機会を提供することにより、文化芸術の振興を図る。		
現状と背景	木版画家・松本英三氏は全国各地で個展を開催し、高い評価を受けている。	その他	